

議題2

鳥栖市転入/転出アンケートの結果について

アンケートの概要

【目的】

- 本市への転入者及び転出者の背景等を把握し、今後の施策検討資料とするために実施したもの。

【調査対象】

- 令和6年11月から令和7年5月までの間に本市へ転入したもの又は本市から転出したものにQRコードを配布。
- 鳥栖市オンライン申請サービスを使用し、WEBアンケート調査を実施した。

【回答数】

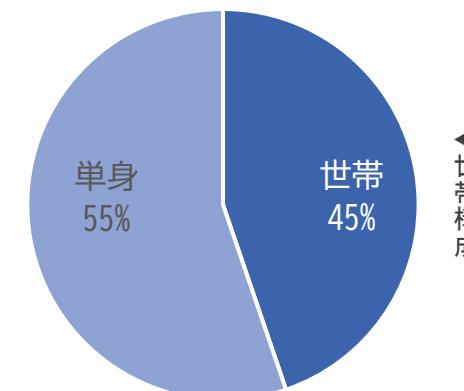
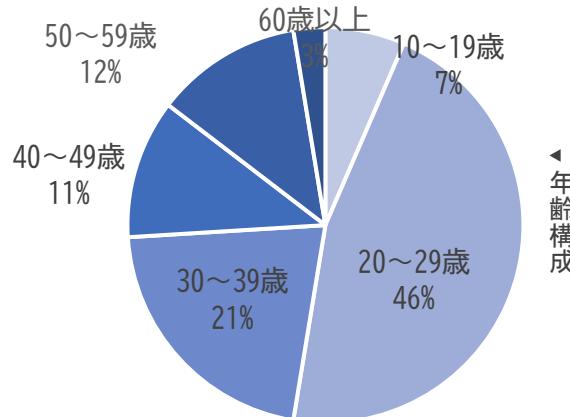
- アンケートの回答数は308件であった。
- 転入転出の別の内、「転入」と答えたものが162件(52.6%)、「転出」と答えたものが146件(47.4%)であった。

【年齢】

- 年齢は「20～29歳」が最も多く46%、次いで「30～39歳」が21%、「50～59歳」が12%であった。

【世帯構成】

- 回答者の世帯構成は、55%が単身、45%が世帯であった。



▼ アンケート用チラシ



- 転入者への質問内容は下記のとおり。世帯構成や住宅状況、転入理由等について調査を実施した。

	内容	選択肢	
1	あなたの性別を教えてください	男、女	
2	あなたの年齢を教えてください	20歳未満、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上	
3	あなたの世帯構成を教えてください	単身、世帯	
3'	あなたにお子さまはいますか	いる、いない	※3で「世帯」と選択したときのみ表示
3''	あなたのお子さまは小学生以上ですか	はい、いいえ	※3'で「いる」と選択したときのみ表示
4	転入元の市町村を教えてください	○○県△△市	
5	転入前、転入後の住居について教えてください	持家、賃貸	
6	通勤または通学先を教えてください	市内、市外	
7	転入のきっかけを教えてください	複数の中から最も当て嵌まるものを選択	
	【選択肢】	「就職や転職等の仕事の都合」、「結婚や進学等の家庭の都合」、「住宅の購入等の住環境の改善」、「子育て、医療等の福祉環境の向上」	
8	鳥栖市を選んだ理由を教えてください	複数の中から3つを選択	
	【選択肢】	配偶者や親族が住んでいる、住宅事情が良い、通勤・通学の便が良い、働く場がある、まちのイメージが良い、治安が良い、市民の雰囲気が良い、災害に強い、物価が安い、商業施設や店舗が充実している、公園や自然環境が充実している、図書館などの文化施設が充実している、スポーツ施設が充実している、医療・福祉施策が充実している、子育て支援が充実している、教育内容が充実している、同居や社宅など住むところが用意されていた、生まれ育ったところだから、プロスポーツチームのホームタウンだから	

- 転出者への質問内容は下記のとおり。世帯構成や住宅状況、転出理由等について調査を実施した他、鳥栖市の改善点についても調査を実施している。

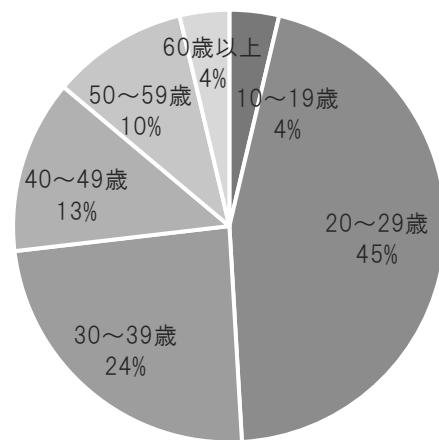
	内容	選択肢
1	あなたの性別を教えてください	男、女
2	あなたの年齢を教えてください	20歳未満、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上
3	あなたの世帯構成を教えてください	単身、世帯
3'	あなたにお子さまはいますか	いる、いない ※3で「世帯」と選択したときのみ表示
3''	あなたのお子さまは小学生以上ですか	はい、いいえ ※3'で「いる」と選択したときのみ表示
4	転入元の市町村を教えてください	〇〇県△△市
5	転出前、転出後の住居について教えてください	持家、賃貸
6	通勤または通学先を教えてください	市内、市外
7	転出のきっかけを教えてください	複数の中から最も当て嵌まるものを選択
	【選択肢】	「就職や転職等の仕事の都合」、「結婚や進学等の家庭の都合」、「住宅の購入等の住環境の改善」、「子育て、医療等の福祉環境の向上」
8	転出先を選んだ理由を教えてください	複数の中から3つを選択
	【選択肢】	配偶者や親族が住んでいる、住宅事情が良い、通勤・通学の便が良い、働く場がある、まちのイメージが良い、治安が良い、市民の雰囲気が良い、災害に強い、物価が安い、商業施設や店舗が充実している、公園や自然環境が充実している、図書館などの文化施設が充実している、スポーツ施設が充実している、医療・福祉施策が充実している、子育て支援が充実している、教育内容が充実している、同居や社宅など住むところが用意されていた、生まれ育ったところだから、プロスポーツチームのホームタウンだから
9	鳥栖市の改善点を教えてください	複数の中から3つを選択
	【選択肢】	まちの雰囲気、治安、市民の雰囲気、災害への強さ、物価、世間の評判、子育て施策・環境、教育環境、福祉施策・環境、文化施設の充実、スポーツ施設の充実、公園・自然環境の充実、病院・医療の充実、日常生活の利便性、交通の利便性、住宅事情、商業施設の充実、イベント・娯楽の充実、その他

転入者の基礎情報

■ アンケート回答（308件）のうち転入アンケートへの回答は162件であり、うち54件が市内転居による回答であったため、これらを除いた108件について分析を実施した。

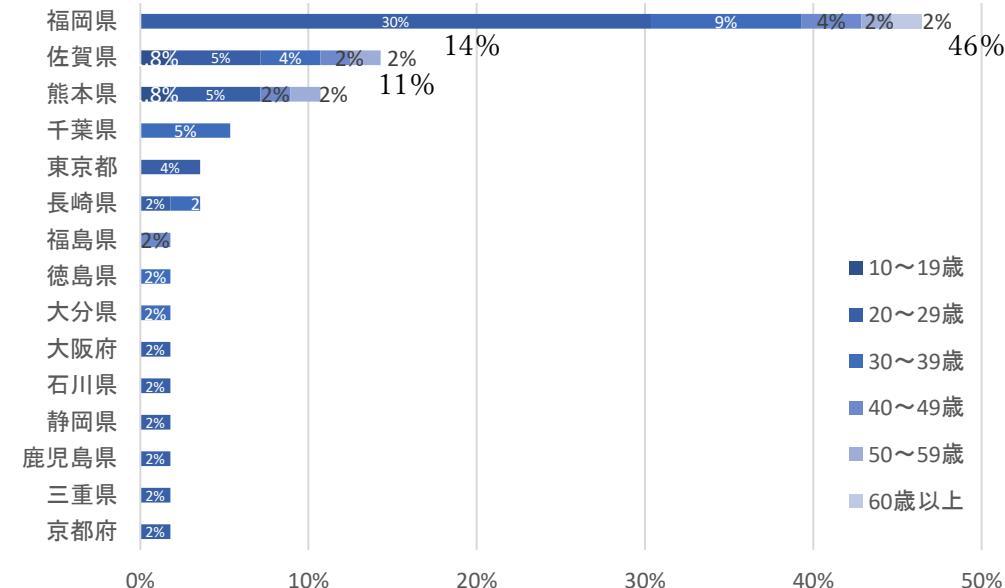
年齢構成

20代が約半数
30代まで含むと全体の6割となる



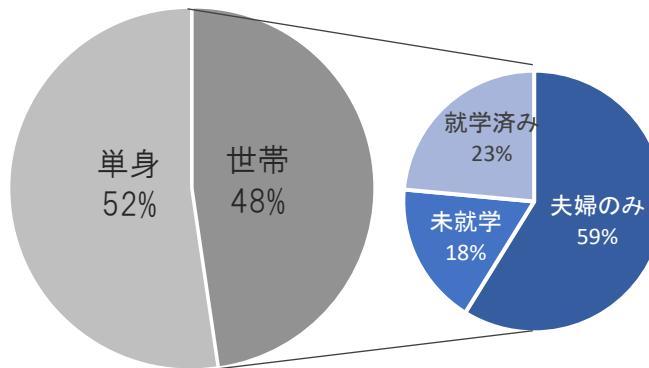
転入元

福岡県からの転入が最も多い
関東圏からの転入層も一定数見られる



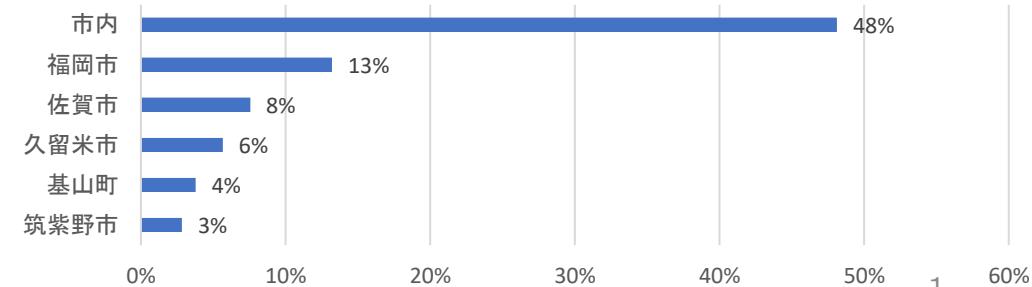
世帯構成

単身と世帯は半々
世帯の内6割は夫婦のみでの転入



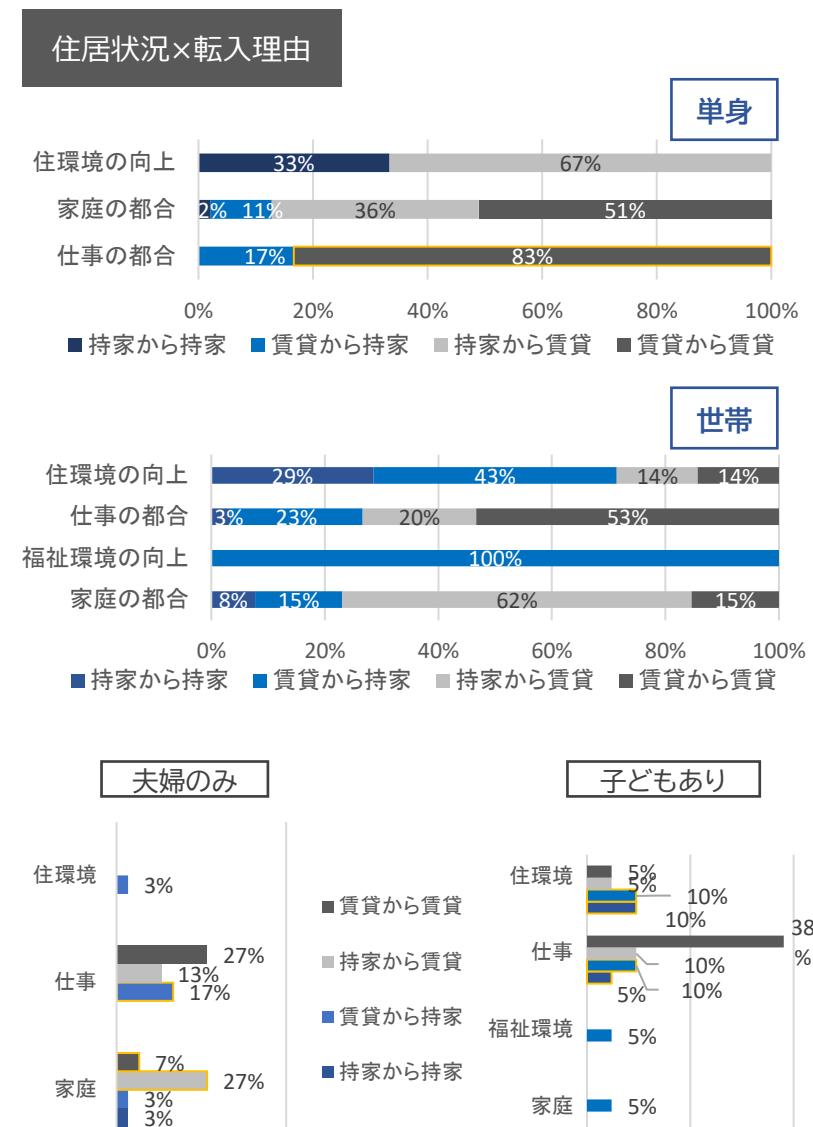
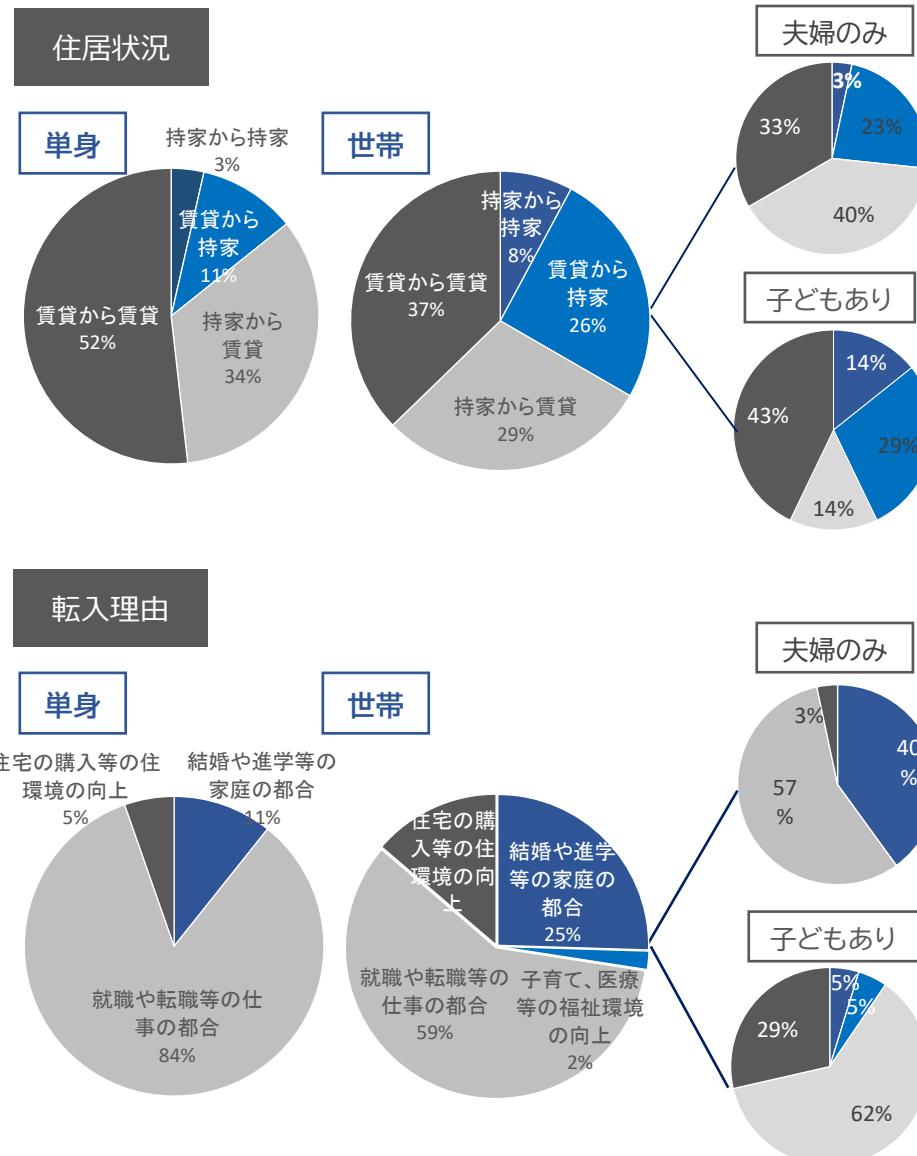
通勤・通学先

半数が市内。福岡、佐賀を合わせると全体の7割を占める



転入者の傾向に関する分析①

単身・世帯とともに、**仕事の都合で転入し賃貸へ居住する者が多い**。また、夫婦のみの世帯では、**結婚を機に転入し賃貸住宅へ居住するもの、仕事を機に転入し持家へ居住するものが一定数見られ、子どものいる世帯では仕事や住環境の向上を機に転入し持家に居住する者が一定数見られる**。



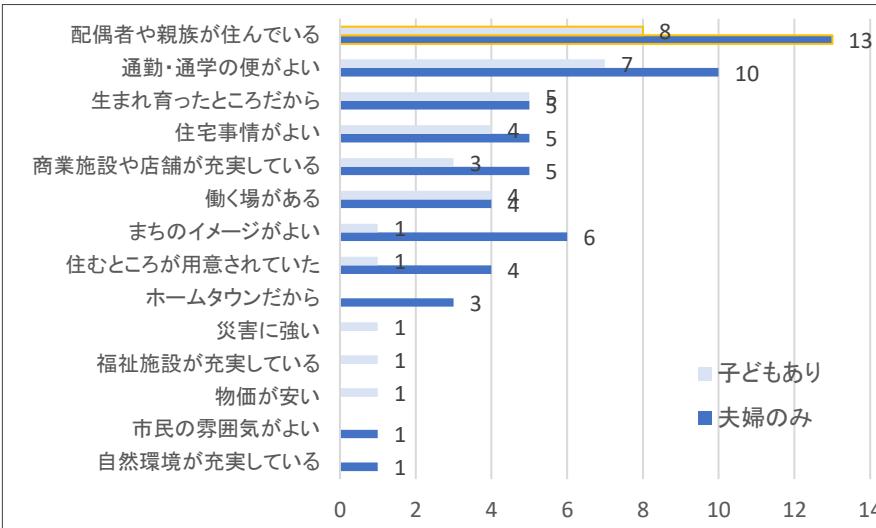
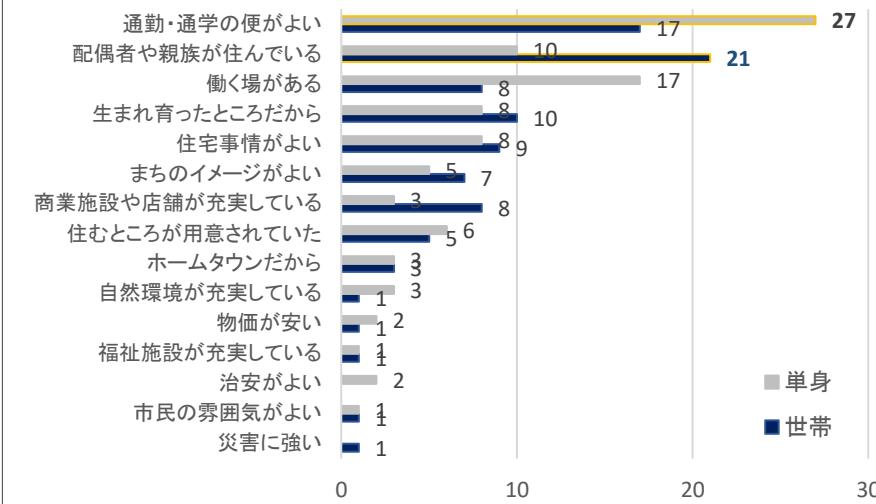
転入者の傾向に関する分析②

単身・世帯を問わず交通利便性が高く評価されている。また、単身では働く場があること。**世帯では配偶者や親族が住んでいることが高く評価されており、子育て支援や公園等の充実は転入理由となっていない。**

選定理由

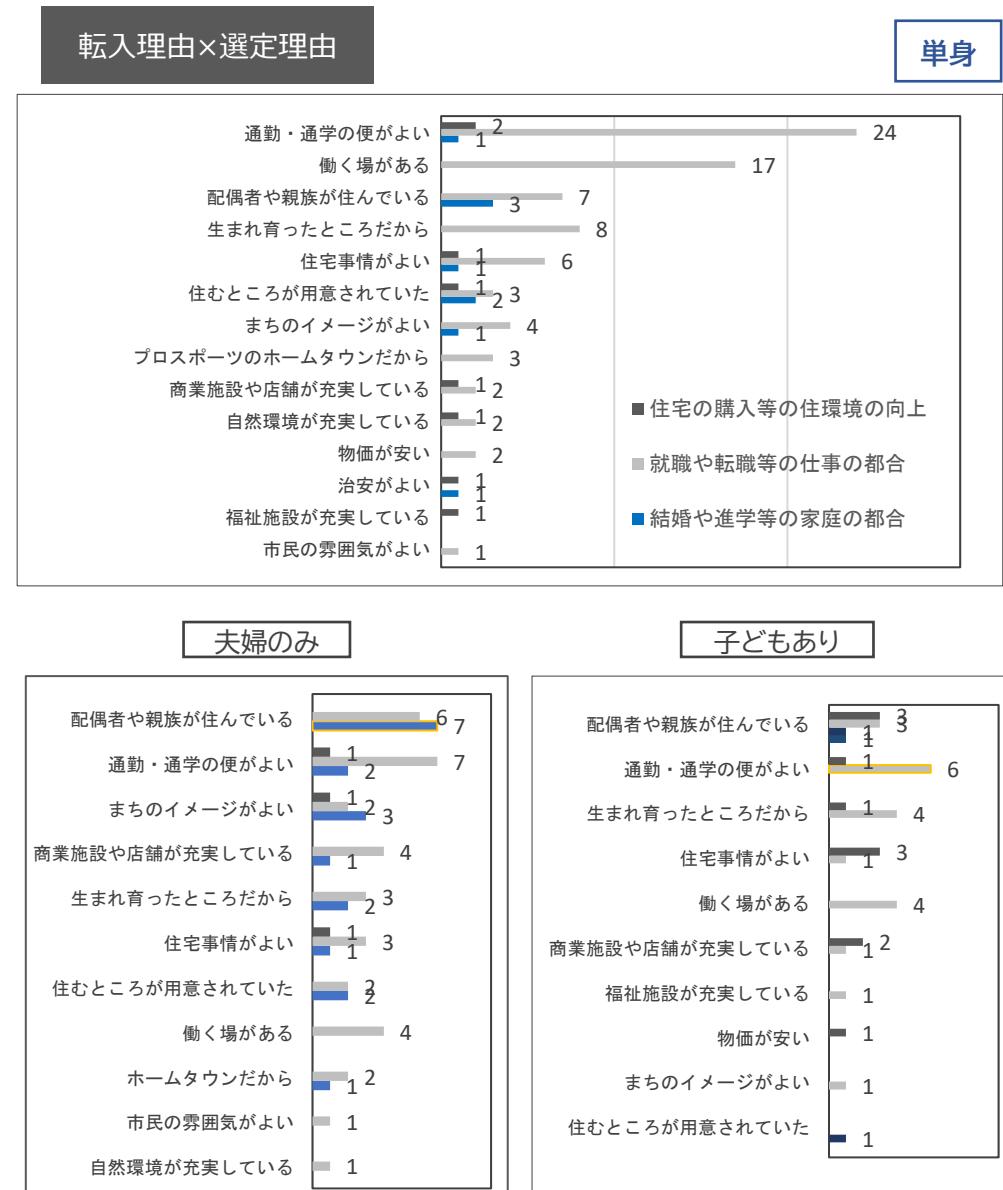
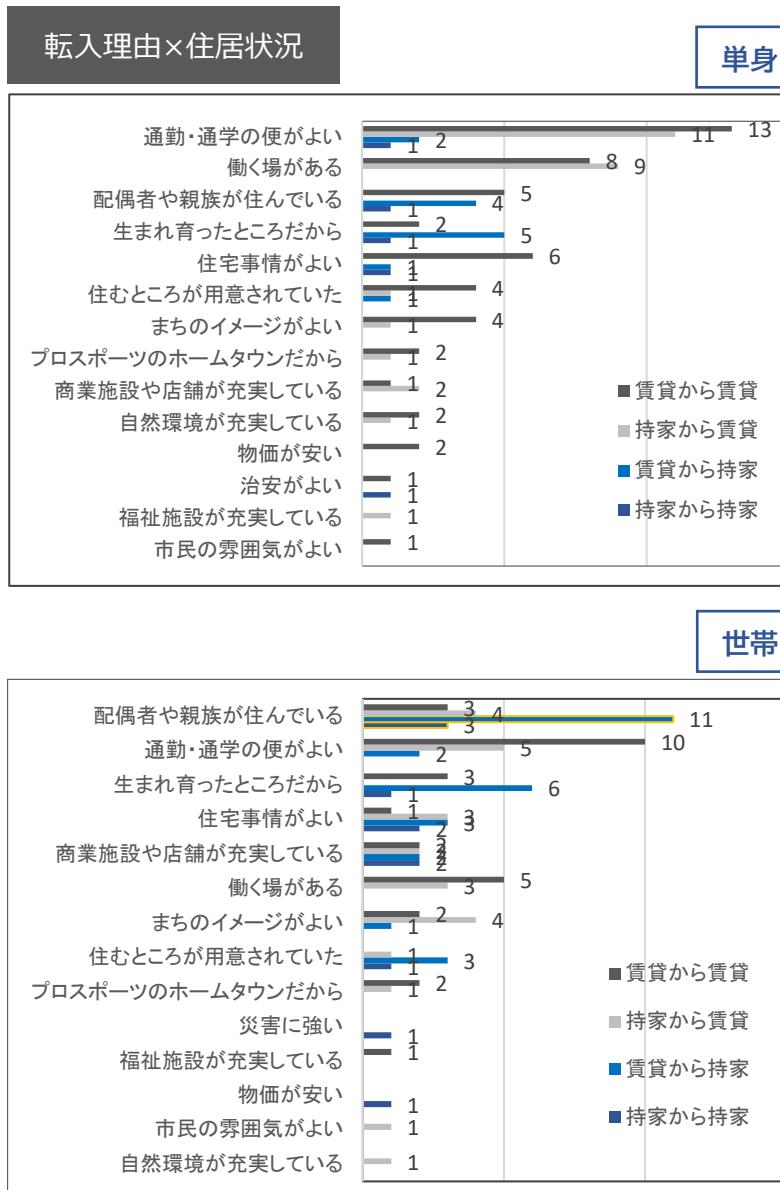


選定理由×世帯構成



転入者の傾向に関する分析③

賃貸へ住む場合は労働関係の理由による転入が多く、持家へ住む場合は地縁・血縁関係の理由による転入が多い。
結婚を機に鳥栖市へ引っ越す層が一定数おり、子どものいる家庭は仕事都合かつ職場の近さを主要因とした転入である場合が多い



- 鳥栖市への転入者は就職や転職など、仕事によるライフステージの変化を契機とする者が多く、夫婦のみでは結婚、子どもを帯同する場合は住環境向上を理由とした転入も一部見られる
- 転入先として鳥栖市を選ぶにあたっては、「交通利便性の高さ」や「働く場所の多さ」の他、「配偶者や親族が住んでいる」ことが大きな要因となっている
- 転入者は単身・世帯問わず賃貸へ住むものが大半を占める。持家への居住は世帯でも4割弱となっている

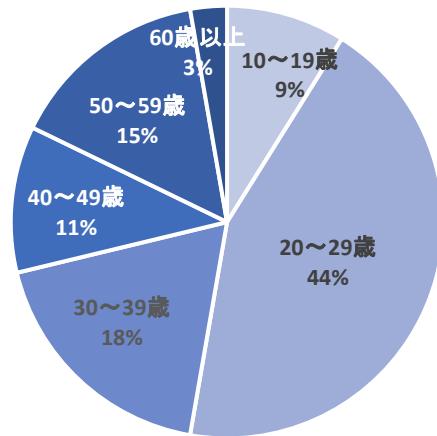
考 察

- 💡 働く場が多いことで若い単身者が鳥栖市へ集まっている。これらの若者が結婚し、双方の職場との近接性から配偶者が鳥栖市へ転入してきているのではないか。これにより、婚姻数が横ばいで推移しているのではないか。
- 💡 鳥栖市を選んだ理由として子育て支援や公園・自然環境の充実具合などを挙げるものは殆どいない。鳥栖市においてこれらの機能が不足している、またはそもそもこれらの機能は住む場所を選ぶ動機づけとしては弱いことが考えられる。
- 💡 持家に住む層は、仕事の都合や住環境の向上を目的に転入先を検討し、配偶者や親族が住んでいることや生まれ育ったところとの理由で鳥栖市を選ぶ傾向がある。住宅価格や土地の広さよりも、職場が近いこと及び親族が近い事を理由に鳥栖市へ転入しているのではないか。

■ アンケート回答（308件）のうち、転出アンケートへ回答した146件について分析を実施した。

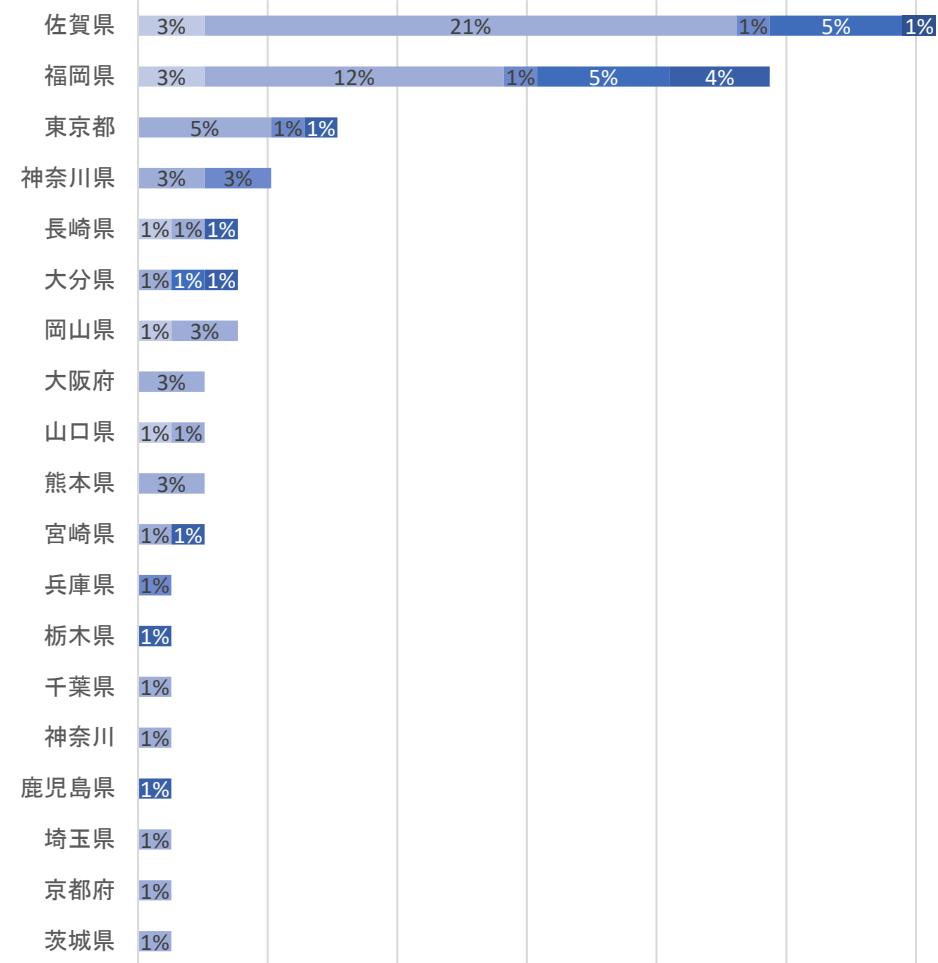
年齢構成

20代が約半数
30代まで含むと全体の6割となる



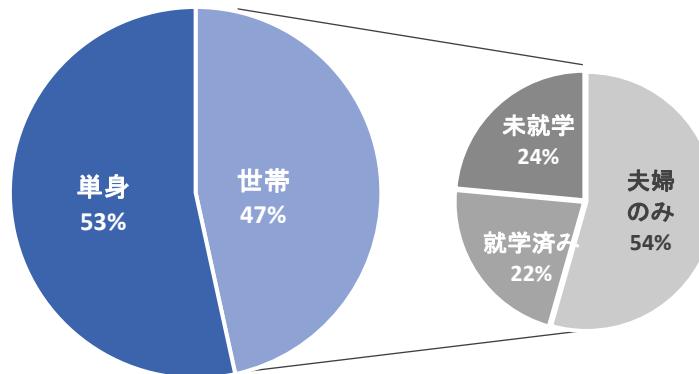
転出先

佐賀県内への転出が最も多く、次点で多い福岡県への転出者と合わせると、全体の半数以上となる



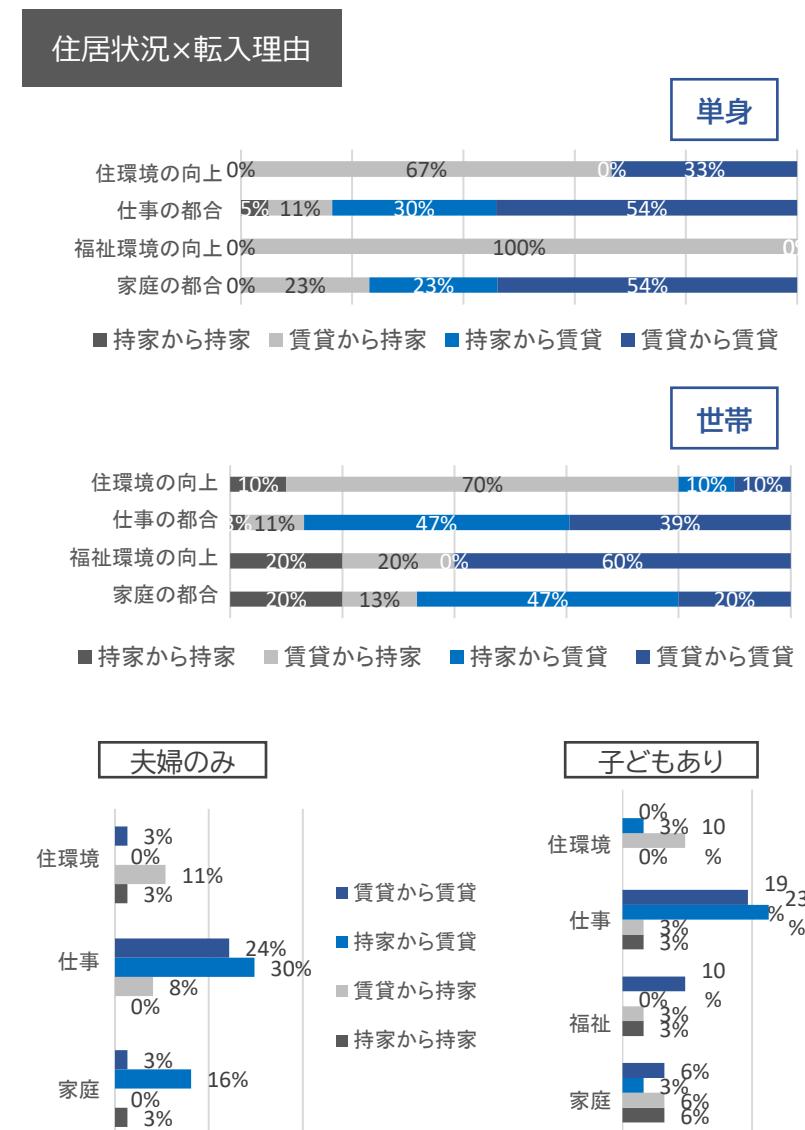
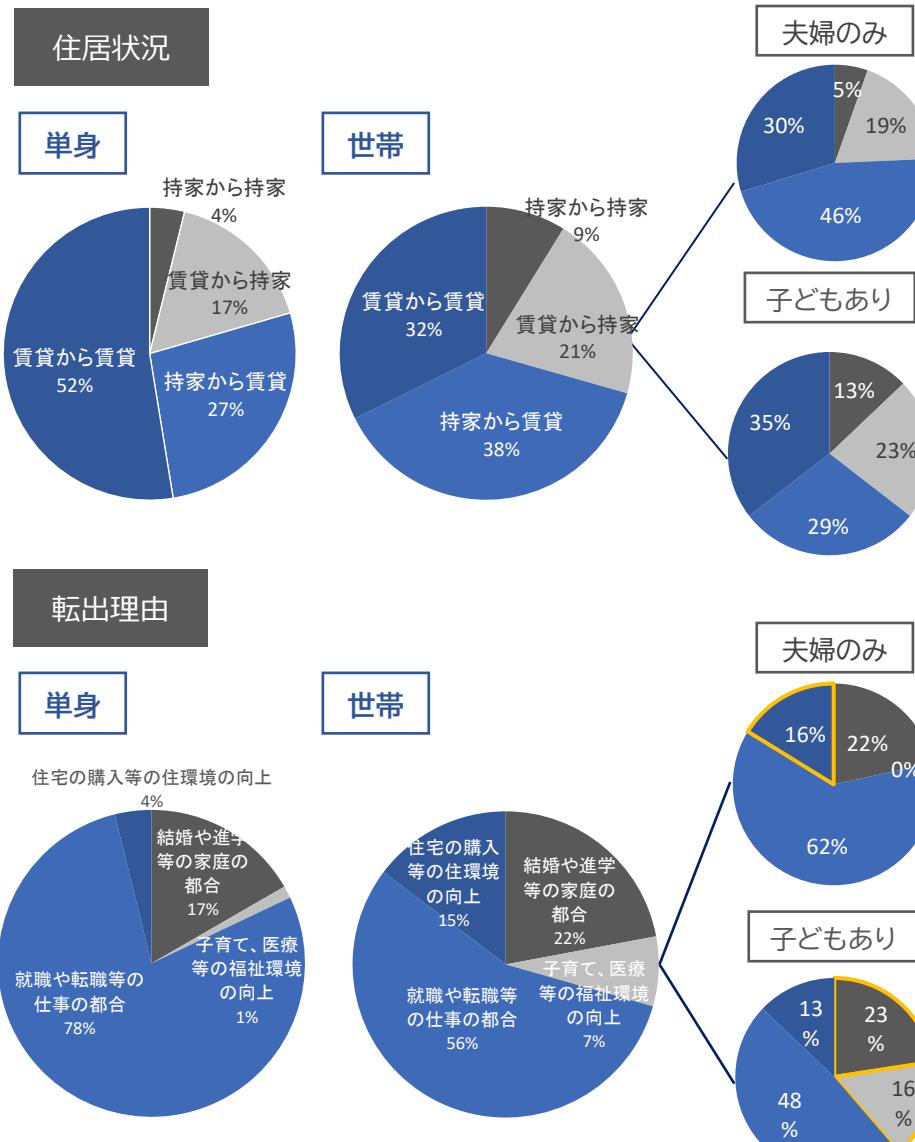
世帯構成

単身と世帯は半々
世帯の内5割は夫婦のみでの転入



転出者の傾向に関する分析①

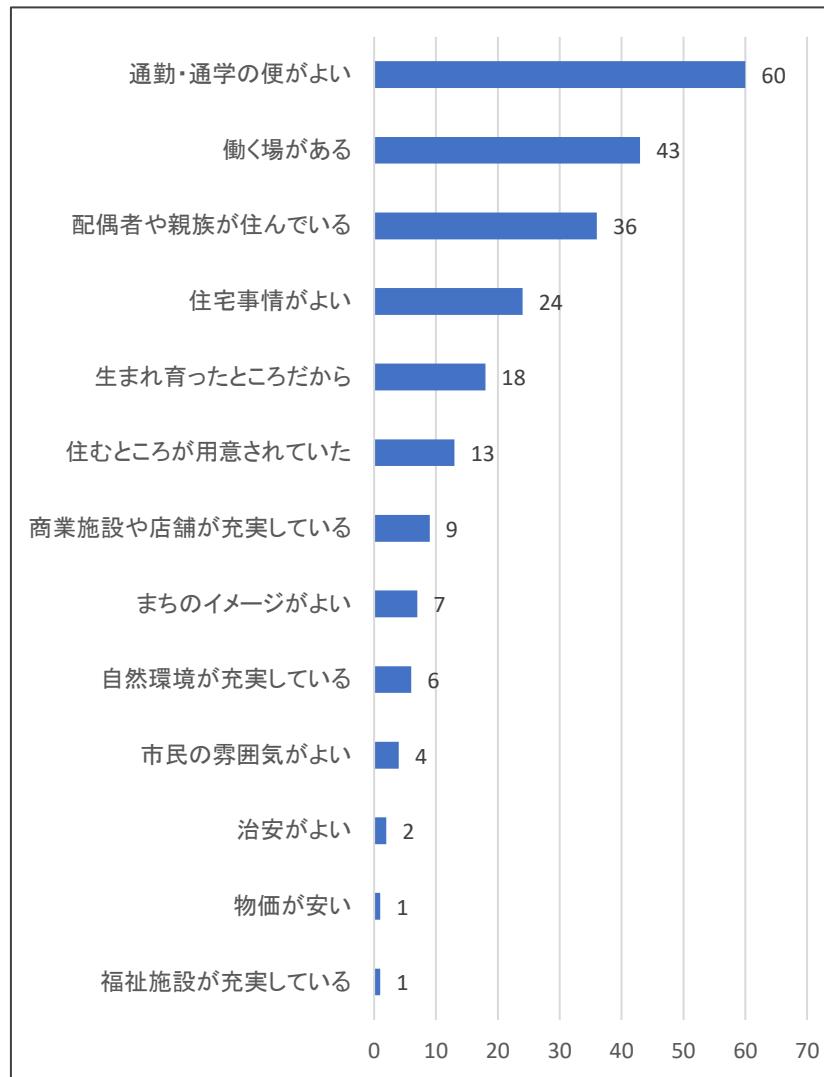
単身・世帯ともに、仕事の都合で転出し賃貸へ居住する者が多い。特に、夫婦のみの世帯では、転入に比べ家庭の都合による割合が少なく、住環境の向上を目的とする割合が多くなっている。子どものいる世帯では、転入に比べ家庭の都合や福祉環境の向上を目的とする割合が多くなっている。



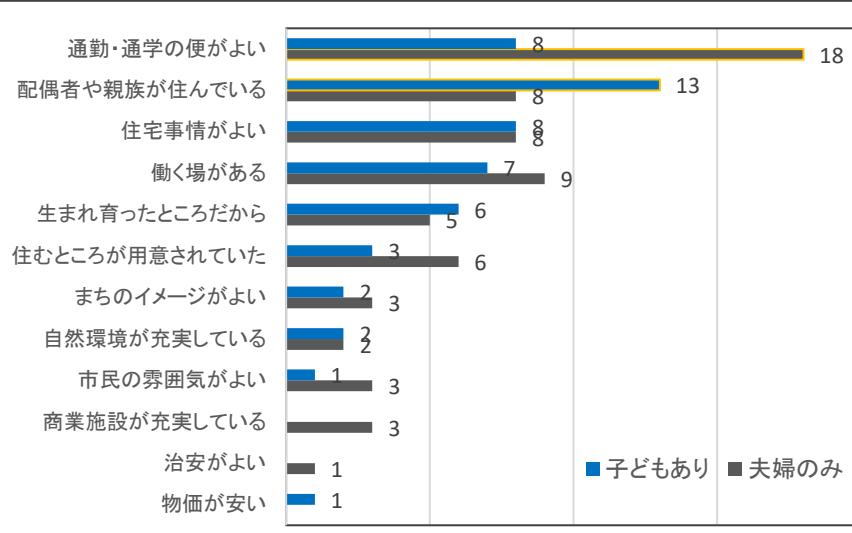
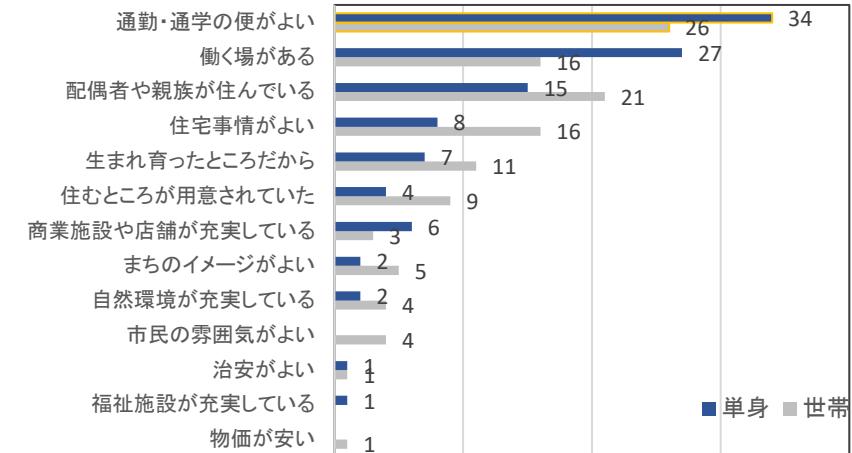
転出者の傾向に関する分析②

単身・世帯を問わず交通利便性が高く評価されている。次点では、単身者にあっては働く場があること。世帯にあっては配偶者や親族が住んでいることが高く評価されている。なお、**子育てや教育環境の充実は転出理由として選ばれていない**。

選定理由

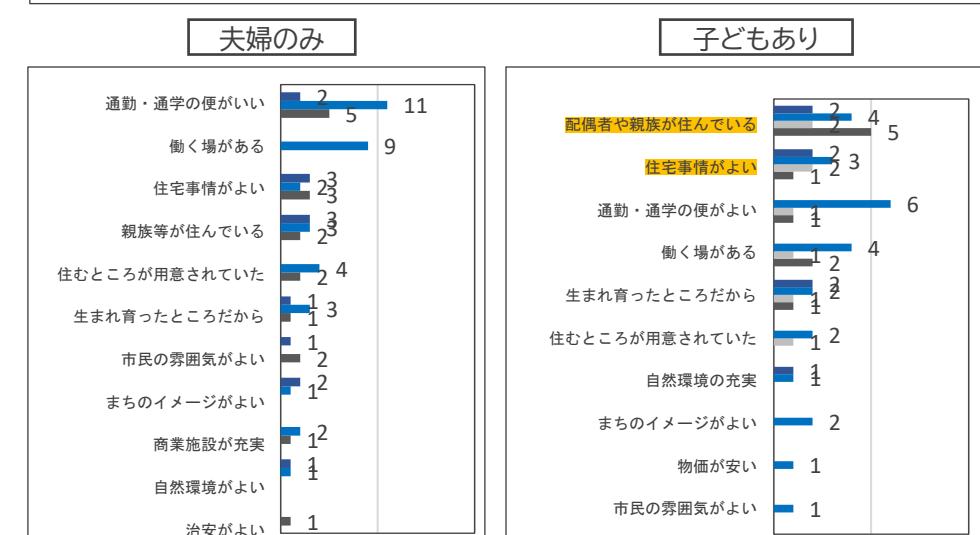
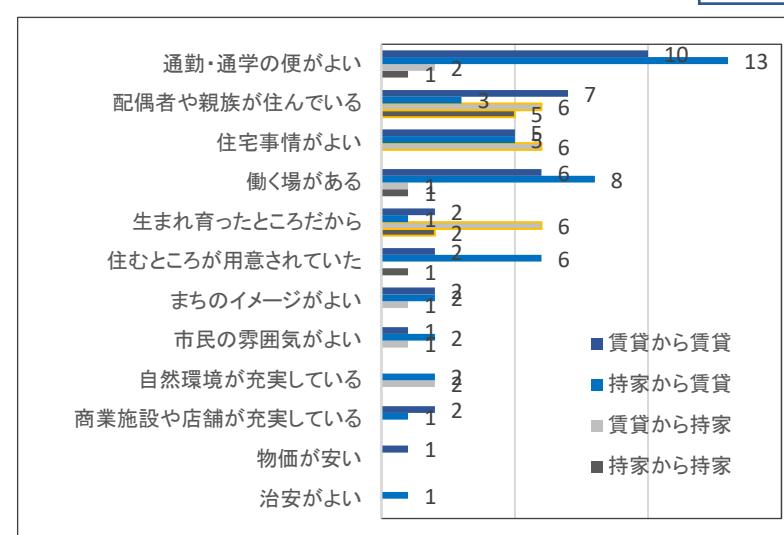
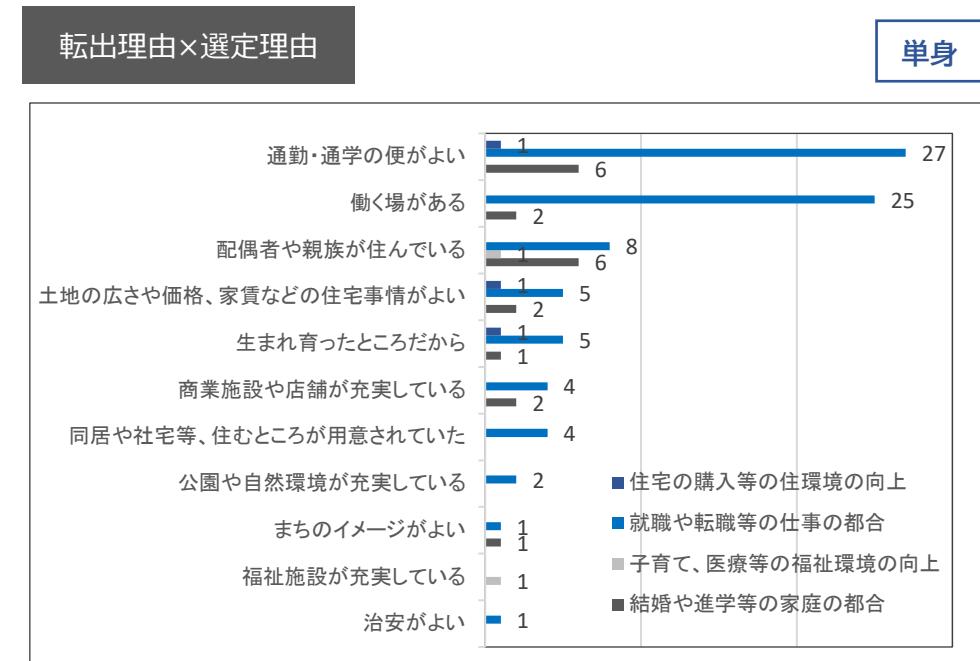
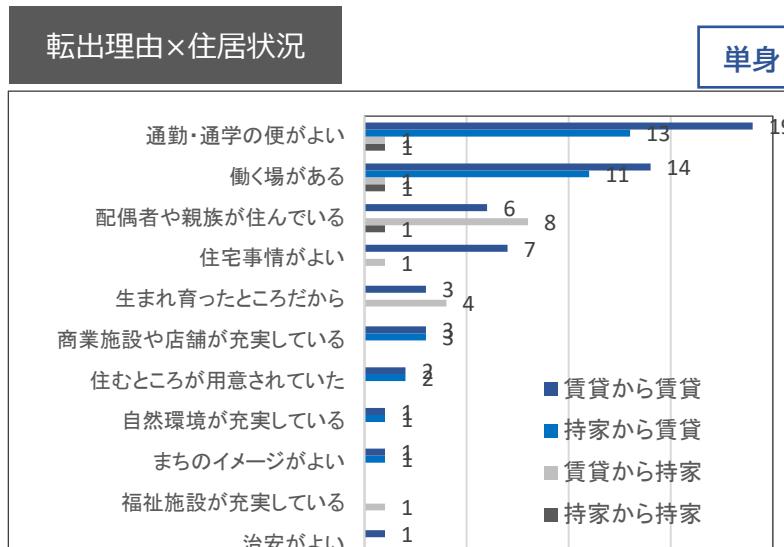


選定理由×世帯構成



転出者の傾向に関する分析③

賃貸へ住む場合は労働関係の理由による転出が多く、持家へ住む場合は地縁・血縁関係の理由による転出が多い。
転出の動機としては仕事関係が世帯構成問わず多いが、子育て世帯については地縁・血縁や住宅状況による転出が多い。



- 就職や転職など、仕事によるライフステージの変化を機に鳥栖市から転出するものが多く、転入よりも福祉環境の充実を求めて転出するものの割合が多い
- 転出先を選ぶにあたっては、「交通利便性の高さ」「働く場所の多さ」の他、「配偶者や親族が住んでいる」ことが大きな要因となっている
- 転出後は単身・世帯問わず賃貸へ住むものが大半を占める。持家への居住は世帯でも4割弱となっている
- 全体的に転入と同じ傾向が見られた。

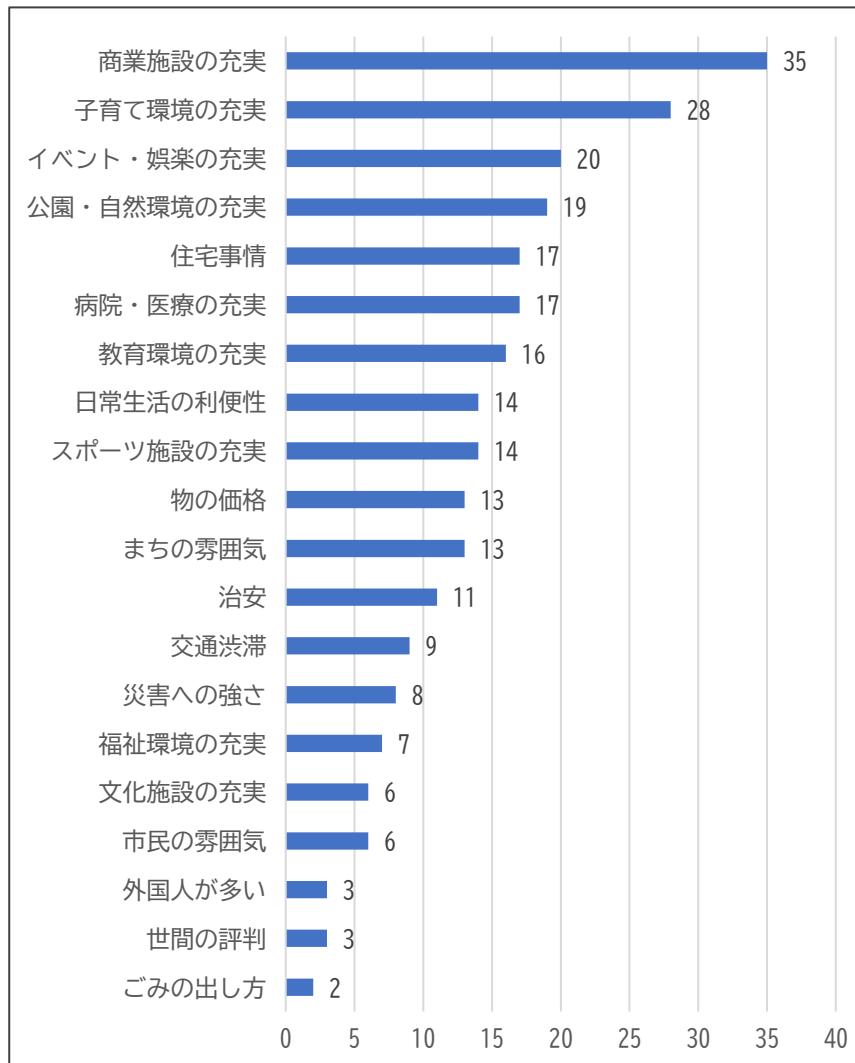
考 察

- 💡 子どもを帯同しての転出について、福祉環境や住環境の向上を目的に転出するものが転入より多い傾向があるものの、転出先を選んだ理由としては住宅価格の安さや親族の近さが選ばれていることから、多くの人にとって子育て支援や教育環境の充実は転入／転出先を選ぶ要因とはならないのではないか。
- 💡 転出先を選ぶにあたっては、職場への近接性や職の多さの他、親族の近さが主な動機付けになっている。多様な働く場を供給し定住人口を増やすことは、核家族化がスタンダードになった現代でも、先々の人口減少を抑える効果があるのではないか。
- 💡 鳥栖市出身者と市外出身者が結婚し、定住先を選定する際に、市内の住宅供給が少ない事から親族や職場との近接性を勘案し、近隣自治体に住居を建て転出している可能性を否定できない。

参考:転出者の思う鳥栖市の改善点

転出者の思う鳥栖市の改善点として、単身者は商業施設やイベント等の充実が、世帯は子育て環境や自然環境の充実がそれぞれ多く、転出の動機とは異なる結果となった。

改善点



選定理由×世帯構成

